

松本市広報R8-6

- 問い合わせ 中央公民館
TEL 32-1132 FAX 37-1153
- 編集 公民館報編集委員会
- 印刷 株式会社プラルト

公民館報 まつもと

発行
2026
9/30



川東町会 お舟流し

シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 81

みたま 御霊をお舟に

送り盆には先祖を見送る
季節の移ろいとともに

(撮影 2026.8.16 神林地区川東町会)

シリーズ 公民館報を考える 第2回

公民館報とは何か



広報と公民館報は何が違うのか？
住民から選出された編集委員の役割とその意義は？

前号では公民館と公民館報（以下館報）について触れました。今回は館報とはどういうものかを、考えたいと思います。

広報の役割

自治体が発行する広報は、行政が住民に対して必要な内容を知らせるもので、毎月発行されます。

館報で地域情報を提供

館報は、住民から選出された編集委員が自らつくる地域紙です。地域の課題を取材して掘りおこし、編集会議で話し合いながら記事にして隔月で全戸配布されます。

取材活動の中で知り得た情報や人とのつながりは、地域を再確認するものです。それを住民と共有して、理解と関心を得る役割を担います。

館報は地域を学ぶこと

取材して編集会議で議論し



この記事で行こう！編集会議の様子

館報合冊版の意義

いくつもの地区公民館では、区切りごとに館報合冊版が発行されています。編集委員が取材した紙面には、地域の現代史が書かれています。それは後の世に伝える、時代を切り取った重要な資料です。特に地区史としての記録は意識して残さないと、地域の歴史そのものが、記録されないことになりかねません。館報合冊版は、その貴重な歴史をまとめたものなのです。

元館報編集委員に聞く

ある地区版の元編集委員にインタビューしました。

Q 編集委員は何年くらい？

A 4年やりました。最初の1年は何も分からずで、2年目からは勉強になりました。

Q 編集会議や取材は？

A 夜の会議だったので、調整しながら出席。取材は昼間もあり、参加して聞き取りしたメモが後で役立ちました。

Q 編集で学んだことは？

A 地区内でも知らないことがたくさんあって勉強になりました。取材したことを話し合って共有し、記事にしている大切さを学びました。

わがまち自慢 今井地区

今井の魅力発信大作戦！いまりん誕生

今井地区の魅力を知ってもらうきっかけと、住民の地域愛を育むことを目指し、キャラクターづくりが令和7年度から始まりました。

町会連合会協賛により図案を募集し、文化祭での人気投票にて35作品から7作品に絞り込まれました。地区公式LINEでの住民からの投票により、今年3月「今井のりんこちゃん（愛称、いまりん）」に決定しました。



「今井のリンゴのおいしさを伝えてくれそう」

「目は種をかたどっており、個性的」

「昔ながらのモンペがいい」などの感想が寄せられました。

8月1日（土）開催の第52回松本ほんぼんには、今井のイメージキャラクターのPRも兼ねて「Noweeeee i mai 連」として参加しま

親しまれる存在へ

キャラクターを活用できるよう、着ぐるみを制作する計画もあります。「地域内の文化祭などのイベントや、保育園・小学校などへの派遣により、幅広い年齢層に親しまれる着ぐるみでより地区の一体感が強くなればと思います」と上條公民館長は話します。



いまりんの詳細はこちら



おひろめの背中で踊るいまりん

視点

②⑧ 地域と学校の交流

コミュニティ・スクール
について

コミュニティ・スクール（以下、CS）をご存じでしょうか。CSとは学校と地域住民・保護者が地域の特色を活かしながら、地域全体で子どもを育てるための取り組みのことです。松本市では、公民館が学校と地域を結び役割を持ち、さまざまな活動が行われています。

身近な取り組みから、
新たな機会に

身近なCSの例に、地域の小中学校で行われている朝のあいさつ運動があります。旭町小学校で



旭町小あいさつ運動の様子
元気なあいさつが飛び交う

た。地域住民の意見が授業に取り入れられることで、子どもたちが街の伝統を知る新たな機会ができました。

は、長期休み明け初めの登校日に、公民館だよりや学校の依頼を通じて集まった地域の方が旗を持って児童を見守っています。

筑摩小学校では、「地域から伝統文化に子どもたちを触れさせたい」という意見をきっかけに、4年生が四柱神社で地元保存会の方を講師に山車の見学や学習を行いました。

つながり続ける

CSという言葉に、はじめは聞き馴染みのなさを感じるかもしれません。しかし、その内実は子どもたちの育ちと学びを豊かにするための学校と地域のつながりであると分かります。

もっと
知りたい方は
こちらを
チェック



筑摩小4年生の伝統文化学習

旧町名碑めぐり ⑦



和泉町は町人町・東町の北、安原町へ続く東町の枝町です。小笠原貞慶が城下の整備を始めた天正13（1585）年頃造られました。町名は清水が湧き出ていたからとも倉品和泉という人物にちなむともいわれ、職人が多い町でした。城下町の南北を貫く善光寺街道は、北に進むと岡田宿から保福寺峠を越え、参勤交代や中馬・飛脚など江戸に向かう最速な道でもありました。

写真でつづる
まつもと今昔⑦③

～ 全国初の緑農住区開発 ～



(撮影：1983年9月)

芳川小屋の土地基盤整備事業が始まる前、田んぼの形はさまざまだった。この時期、やまびこ保育園や芳川小学校の周辺の稲は黄金色に輝き、刈り取りを待つ稲穂が秋風に揺れていた。



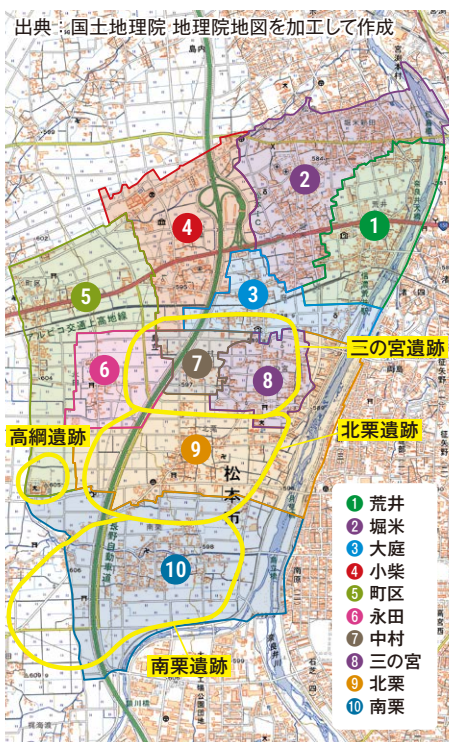
(撮影：2026.8.21)

昭和63（1988）年から平成元（1989）年にかけて行われた芳川小屋緑農住区事業は、全国で初めて農区と住区に分けて開発を行ったことで有名。計画的に「緑農区」と「緑住区」に区分けして計画開発。写真の左側には市街化調整区域の農地が、右側には市街化区域の宅地が広がっている。

おこひる

オスの柴犬がおり、家族の一員となつてから13年になる。人間の年齢だと70歳になるという。そのためか最近はそのための散歩でも歩きが弱々しくなった▼若い頃は脱走が得意で、何回か警察のお世話になったこともある。脱走の常習犬であった。人懐っこくめつたに吠えることはなかったが、ある夜中に異常な声で吠え続けていたため外を見回ると、物陰に不審者を発見した。不審者は逃げて行ったが、特に被害はなく安堵した出来事があった。その時はご褒美にいつもより多めにご飯をあげてやった▼毎年幼い孫が遊びにくる。散歩のときは孫がリードを持つが、行く方向が異なるとお互い意地の張り合いとなり、前足を踏ん張って一步も引かない。このような情景はとも微笑ましく癒されてならない▼小学生も70後半の歳となり、毎日の散歩も辛くなるときがある。それでもお前が元気である限り付き合っていきたいと思う。さあ、今日も散歩に行こうか。





昭和29年の松本市編入に際し、北栗林・南栗林の林が省かれたが、他は全てほぼ同じ名称が続いています。

島立という名称は、室町時代

に信濃守護になった小笠原家の同族がそれ以前から所領していた居館「島の館」から生じたとする説や、お伽草子に登場する物ぐさ太郎の父で

荒井・かつて荒田郷と呼ばれた地域に、室町時代、亥(井)の方向に砦のある荒井城が築かれ、地名として伝え残されているという説があります。

〈地名の由来〉

ある深草帝第二皇子が、信濃国に島流しとなり、住んだ館があったことから生じたとされるなど、諸説あります。

梓川扇状地の南側の肥沃な地に、多くの文化財・史跡が！

奈良・平安時代から大集落が存在 島立地区

再発見!! まつもと地名がたり 19



写真の遺跡の他、三の宮や中村などにも竪穴式住居跡や遺物が!!
松本市南栗・北栗遺跡発掘調査報告書より

〈歴史を伝える遺跡〉

三の宮・信濃国三之宮のひとつである沙田神社があり、「三之宮」が地名として根付いたようです。御柱祭りも千年以上前から行われています。なお、信濃国一之宮は諏訪大社です。

小柴…この地域には、古道の仁科街道(塩の道)や氾濫も多い古代梓川の本流があり、人々が行き交う中、川越える場所でした。いつしか川の「越し場」と呼ばれ、のち「小柴」の漢字を当て、村名になったと伝えられています。

立の大庭に、かつて松本十三番札所巡りの庭島山惣輪寺があったことや、沙田神社南にあった太子堂が大庭に移ったことなどが、同様の由緒を持つとして伝えられています。

松本平の野鳥たち



ノビタキ (2022年10月松本市笹賀 写真提供: 信州野鳥の会)

全長13cm。オスは頭から背・翼の上面が黒色、腰・腹は白色で、胸は橙色の強い赤色。

止まった姿は直立し、胸を張った姿。日本では夏鳥として渡来し、松本平では美ヶ原、高ボッチで普通に见かける。渡りの時期には平地の草地、畑地、水田などで見かける。9月はそのチャンス!

まつもと散歩

空が高くなって
夏の余韻が風になる頃
またキミに会えたらいいね



(撮影: 2026.8.23 公園通り)